

事業所名	発達支援ルームキャンパスACT	支援プログラム（児童発達支援・放課後等デイサービス）	作成日	2025年	3月	7日
法人（事業所）理念	『お子さまの可能性を信じ、子どもたちの可能性を最大化します』 『保護者さまと共にお子さまの成長を考え、計画を立て、ご家庭と共に実行して行きます』					
支援方針	「しなやかな身体と心で人と繋がり自分と繋がれる人」となれるように発達課題を5つの領域に分け、ここに合わせた個別支援を設定し、個別及び集団活動の中で“楽しい”と漢字ながら学べる機会を作っています。					
営業時間	学校稼働日 学休日	11時00分 9時00分	から	19時00分 17時00分	まで	送迎実施の有無 あり
支援内容						
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登所時に手指の消毒、手洗い、検温を行い、心身の異変に気付けるよう健康把握を行います。</li> <li>・登降所時の身辺処理(靴の用意や着脱、荷物の整理、衣服の着脱等)など日常生活の中で自分で出来る事は、積極的に行っていただき難しい所をサポートする事で、生活スキルを身につけられるよう支援を行います。</li> <li>・睡眠、食事、排泄等の基本的な生活リズムを見につけられるよう定められた時間での誘導と支援を行います。</li> <li>・1日の流れや、レクリエーション活動の説明などは視覚的方法を用いるなど、利用者様の分かりやすい方法で伝え、不安無く過ごす事が出来るよう支援を行います。</li> </ul>				
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団活動にて運動やダンスなど体を使う課題を提供し、身体機能の維持・向上を図ります。</li> <li>・集団活動や制作活動にて、視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用出来るよう、様々な体験を提供し支援します。体の感覚は力加減や、体の動きをコントロールするだけでなく、精神面のコントロールにも役立ちます。</li> <li>・日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や、運動機能の視察を行い、必要に応じて個別支援として支援を行います。</li> </ul>				
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色や数、時間、お金の勝ち、物品の名前など様々な概念に向け、利用者様の特性や能力に合わせて。課題の提供を行います。</li> <li>・認知の偏りを把握し、適宜支援を行うことで拘りや忌避感を軽減出来るように支援します。</li> <li>・利用者様が認知、解釈しやすいように環境を整え、ストレス無く過ご州市が出来るように支援します。</li> <li>・集団活動や制作活動にて、各感覚を刺激し、興味の幅を広げる事が出来るように支援します。</li> <li>・“着席” “大人をよく見る” “少し嫌な事も頑張ってみる”等課題に向かう、学習の姿勢を支援します。</li> <li>・「楽しい」「やってよかった」と感じるように関わり方や内容を工夫します。</li> </ul>				
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者様の特性に応じた課題を設定し、読み書き能力の向上を図る事が出来るように支援します。</li> <li>・“要求” “報告” “聞く” “模倣” “観察する” など、自分も周囲の人も大切にコミュニケーションを学び、身に付け、向上させていけるように支援します。</li> <li>・文字や記号、絵カードやジェスチャー・手話など、音声言語以外でのコミュニケーション手段の獲得を支援します。</li> </ul>				
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団活動や余暇活動での友達との関わりの中で、ソーシャルスキル(“順番交替” “役割” “ルールを守る” “指示に合った行動をする” “強調した関わりを持てる” など)の習得が出来るように支援します。</li> <li>・“挨拶” “ルール” “マナー” “礼儀” “感謝” “謝罪” “利害” “協力” “対立” など、集団で発生する様々な人間関係において、相手も自分も大切に行動したり、気持ちのコントロールが出来るよう一緒に考え練習していきます。</li> <li>・ソーシャルスキルトレーニング(SST)では、職員がモデルケースとなり、他者交流の経験を積む事が出来るよう支援します。</li> <li>・他者との適切な距離感の把握が出来るように適宜言葉掛けを行い、他者との良好な関係形成を支援します。</li> </ul>				
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス提供記録や、送迎時の会話などで随時情報共有をし、不安や困り事への相談援助を行います。</li> <li>・送迎、延長、登校日以外の預かりや、講演会、保護者開催イベントの情報提供、支援方法やグッズの共有を行います。</li> <li>・個別に相談援助等を月1~4回行います。</li> <li>・保護者会を開催し、保護者同士の交流の機会や子育て・障害等に関する情報提供を行います。</li> <li>・利用者様の都合や保護者様の就労、妊娠・出産、病気・負傷、学校の短縮授業等により、予定支援提供時間前後の延長支援が必要となった場合、保護者様と連携を図りながら必要に応じて延長支援を行います。</li> </ul>		移行支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校や関連の医療・福祉施設と情報交換や担当者会議を行い、包括的に支援を行える環境を作り、支援します。</li> <li>・併行利用先や学校と連携し、情報共有や支援内容等の擦り合わせを行います。具体的な移行又は将来的な移行を見据えた支援目標や支援内容を設定し、利用者様や家族様への相談援助等の支援を行います。</li> </ul>		
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校や他事業所との情報共有を密に行います。</li> <li>・地域や学校、他事業所イベントへの参加や、地域との交流機会を提供し、支援します。</li> <li>・地域の施設等を利用したり、地域で活動されているボランティア団体や個人との交流、地域の催し物等に参加する事で、利用者様が地域社会とつながりを持つように支援を行います。</li> </ul>		職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各市区町村や地域支援センター等主催のキャリアアップ研修、専門研修、課題別研修や会議へ派遣を行います。</li> <li>・岳待望し、進退拘束、緊急時対応、感染症対策等研修への派遣や内部研修の実施</li> <li>・法人・事業所の運営に係る視覚習得研修への派遣</li> </ul>		
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発達の成長に合わせた買い物体験、調理実習、社会体験活動</li> <li>・外出支援にて社会資源を活用した社会体験や経験を活かした環境作り</li> <li>・他事業所などとの交流の機会提供</li> <li>・将来を見据えた社会的スキル習得、工場見学、障害者支援事業所への見学</li> <li>・避難訓練(市長の消防所見学や講師を招き、講和、消火避難訓練、地域避難場所への移動等の訓練を実施)</li> <li>・交通安全教室(市警察署見学や講師を招き、講和等を実施)</li> <li>・保護者会開催(保護者同士の交流、子育て・障害等に関する情報提供、支援方法やグッズの共有、外部講師を招き学習等)</li> </ul>					